

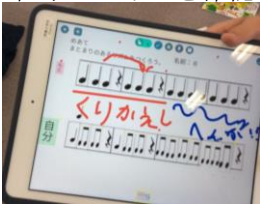

ICT実践事例・修正指導案


本時の指導 拍にのってリズムをかんじとろう「ゆかいな木きん」→「手拍子でリズム」(5-2/6)

本時のねらい 作ったリズム音楽について、イメージに合うかグループで聴いたり、同じイメージの別のリズムをたたき比較したりすることを通して、よりイメージに合うように工夫することができる。

評価規準 作ったリズム音楽について、よりイメージに合うように工夫することができる。

具体的な児童の姿 イメージ合っているか友達のリズムを聴きながら考え伝える姿、よりイメージに合うための工夫を考える姿

時間	児童の活動	指導〇及び留意点・ ◎評価(方法) ※支援を要する児童への手立て	準備物
5分	1. 本時のめあてを確認する。 	○モデルのリズム音楽と数名の児童のつくったリズム音楽を演奏し、前時を想起できるようにする。 ・児童のリズムを全員でリズム打ちし、どんなイメージで作っているか予想させる。	iPad
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて イメージがもっと伝わるようなリズムにしよう</p> </div>			
12分	2. 作ったリズム音楽をグループで紹介する。 	○作ったリズム音楽をイメージや意図も含めて紹介する。 ・紹介を聞いた後、その都度グループでそのリズムをリズム打ちしたりどんなふう感じたか話したりする。	iPad
23分	3. リズム音楽の工夫を考える。	○グループでの困りを全体で出し合う。 ・イメージがもっと伝わるようにするには、どうしたらよいかなどの意見が出てきたら、課題を位置付ける。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>課題 イメージがもっと伝わるようにするには、どんな工夫をするとよいか。</p> </div>		○同じイメージだけど別のリズムの楽譜2つを比較し、気付いたことをグループで話し合わせる。 ・リズム打ちをしながら考えさせる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージは1つだけど、いろんな種類のものができる。 ・八分音符が多いと速い感じがする。 ・同じ音符が並ぶと気持ちいい。 ・違う音符が並ぶとバラバラな感じがする。 </div>			

		<p>○イメージがもっと伝わるように自分のリズムを見直し、グループで確認できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変更したい場合は、イメージにあうかリズム打ちをして確かめるようにする。 ・イメージがもっと伝わるようになったかグループで確認しながら、リズム打ちをしたり聴いたりする。 ・変更したリズムは、ロイロノートで提出するようにする。 	iPad
<p>まとめ</p> <p>イメージに合うように思いをもって音符の並びを考えて試すと、もっと伝わるようになる。</p>			
5分	4, 本時のふりかえりを行う。	○めあてに対してのふりかえりやグループの練習についてのふりかえりを書くように声をかける。	iPad

B3 思考を深める場面

☆1人1台端末の使用は効果的であったか

○カード内の音符を操作してリズムを作ることができるので、簡単に何度も試して作り変えることができる。

○カードが1人1台端末内に保存されるので、自分のつくったリズムや振り返りなど記録し、後で確認することができる。

▲すぐに操作できることで、リズム打ちをせずずっと端末を触ってしまっていたので、目的にあった時だけ使うようにきまりを決めて取り組ませることが大切。

